

携帯電話を取り巻く市場では、ここ数年の変化は激しく、従来の通話、メール、インターネット、カメラの各機能から、第3世代では、テレビ視聴やおサイフ携帯などの生活に密着した機能も搭載されるようになってきました。更に、オープンOS（基本ソフトウェア）として、様々なアプリケーションソフトウェアがダウンロードできるパソコン（PC）ライクなスマートフォンが脚光を浴びるようになってきています。

このようなニーズの多様化に伴い、モバイルコミュニケーション社はお客様の立場に立った差異化技術をいかに提案していくかという観点で、2009年には、基本機能にこだわった世界最薄の防水携帯電話をはじめ、新たに電子書籍サービスに対応した機種<sup>(注1)</sup>やデザインモデルの開発を行ってきました。また、スマートフォンでは、インターネットの閲覧を快適にしたいというニーズに対応するため、大画面、高性能、薄型、及びユーザーインターフェースの性能にこだわったPCライクな製品をグローバルな市場に投入しました。

2010年以降の携帯電話市場では、第3.9世代通信システムとなるLong Term Evolution<sup>(注2)</sup>への移行や、モバイルWiMax<sup>(注3)</sup>などの技術に立脚した様々なサービスが展開されていきます。東芝もそのような技術に対応するとともに、テレビやPCと融合したデジタルプロダクツ商品の開発を進めていくことにより、お客様の様々なニーズに対応していきます。

(注1) ハイライト編のp.9に関連記事掲載。

(注2) W-CDMA (Wideband Code Division Multiple Access) の高速データ通信仕様の一つ。

(注3) 無線通信の標準規格。

統括技師長 湯嶋 彰

● au向け CDMA2000 1xEV-DO 方式携帯電話 T003



au向け CDMA2000 1xEV-DO (1x Evolution Data Only) 方式携帯電話

T003 CDMA2000 1xEV-DO (code division multiple access 2000 1x evolution data only) cellular phone featuring ultraslim waterproof design

二つ折りタイプの防水対応の携帯電話としては世界最薄<sup>(注)</sup>の11.6 mmを実現したT003を開発した。

T003では、3.0型FWVGA (854×480画素) 液晶、ワンセグ、約322万画素のオートフォーカス (AF) カメラ、FeliCa<sup>®</sup>、Bluetooth<sup>®</sup>など豊富な機能を搭載したうえで、薄型かつ防水機能を実現した。更に、キーの押しやすさやデザインにもこだわり、凹凸のある立体的なキーや、ステンレス素材に4層コート塗層を施した高級感のあるケースを採用している。

(注) 2009年9月現在、当社調べ。

関係論文：東芝レビュー、65、2、2010、p.40-43。

● au向け CDMA 方式携帯電話 iidaモデル PLY



au向け CDMA 方式携帯電話“PLY”  
PLY CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

au向け CDMA方式携帯電話“PLY”(プライ)を商品化した。“PLY”とは“積層”を意味することばで、積重ねを表現したiida<sup>(注)</sup>デザインモデルである。

フロント面の操作キーすべてをスライド内側に搭載して表面をすっきりさせ、厚さ14.5 mmのスタイリッシュなモデルを実現した。また、サイドキーを片側に集中させ、ノートインデックスを彷彿 (ほうふつ) させるタブキーを搭載した。その他、各層の色を変えるなど、デザインにこだわった機種である。

また技術的にも、当社独自開発の電源ICを採用し、低消費電力化 (当社比10%低減) と小型化の両立を実現した。

(注) auが2009年から展開している“感性”をテーマとした新しい携帯ブランド。

## ● au向け CDMA2000 1xEV-DO 方式携帯電話 T002

auで初となる、防水対応であり海外でも使用できる携帯電話 T002を商品化した。

T002では、au向けとしては当社初のIPX5及びIPX7 (旧JIS保護等級相当) に準拠した防水性能構造と、GSM (Global System for Mobile Communications) 方式に対応している。

デザインについては、奥行きのある輝きを放つ加飾技術を採用し、非金属でありながら金属調の光沢を実現した。更に、操作性を考慮した持ちやすい形状とし、キー部についても質感と操作性を考慮している。



au向け CDMA2000 1xEV-DO 方式携帯電話 T002  
T002 CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

## ● au向け CDMA2000 1xEV-DO 方式携帯電話 T001

au向け CDMA2000 1xEV-DO方式の携帯電話 T001を商品化した。

外観をほぼまるごと変えられるだけでなく、メニューデザインやボタン操作、コンテンツなども変えられる“フルチェン”に対応しており、自分好みのコーディネートを楽しむことができる。

ディスプレイには3.1型ビジュアルワイドVGA (480×800画素相当) 有機EL (Electroluminescence) を搭載し、映像コンテンツを高精細に表現できる。また、515万画素の高画質のAFカメラを備えており、顔検出AF機能を搭載した。更に、グローバルパスポートCDMAにも対応しており、世界26の国と地域で通話することができる。

関係論文：東芝レビュー． 64, 5, 2009, p.50-53.



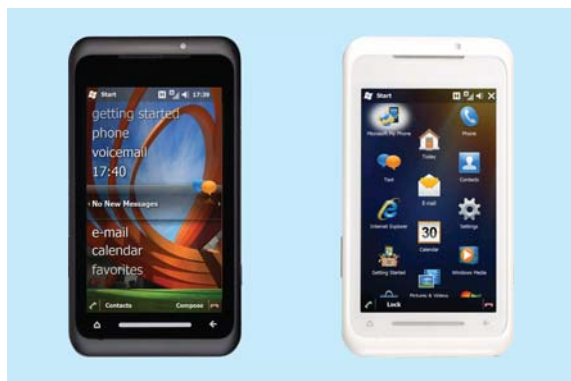
au向け CDMA2000 1xEV-DO 方式携帯電話 T001  
T001 CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

## ● 欧州市場向け 高性能スマートフォン TG01 Windows® phone

TG01 Windows® phoneは、2009年6月から欧州各国で順次発売したTG01に、新OSのWindows Mobile®6.5 Professionalを新たに搭載し、軽快なタッチ操作でPC向けのリッチなWebコンテンツを楽しめる高性能スマートフォンである。また、Windows® Marketplace for Mobile (アプリケーションソフトウェア配信) や、Microsoft® My Phone (オンラインデータ保存) などの各種クラウド連携サービスによる高度なモバイルインターネット体験ができる。

Microsoft社が同OSをリリースした2009年10月から、欧州主要3事業者向けを皮切りに欧州各国で順次発売し、同時にTG01ユーザー向けにOSのアップグレードソフトウェアを提供している。

関係論文：東芝レビュー． 64, 9, 2009, p.53-56.



欧州市場向け TG01 Windows® phone  
TG01 Windows® phone for European market